

# 平成 30 年度「健やかな身体」育成プログラム

学校番号：27511  
 学校名：前田中央小学校

プログラム改定のポイント		◎子どもの実態を捉え、教育活動の重点（学校経営の重点）と照らし合わせながら、計画・実践していく。 ◎継続するもの、改善するものを見極め、よりよい育成方法をめざす。		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「健やかな身体」の育成に係る目指す子ども像	☆自ら進んで体を動かし、自分自身の体力向上を目指す子 ☆食に対する意識を高め、健全な食生活を目指す子		
「健やかな身体」に関する成果や課題	A 体育に関する指導の充実	<b>【具体的な取組】</b> ○縄跳び運動の推奨（体育時の準備運動・全校縄跳びDAYの開催・屋上の開放）（最重要） ○ボール投げ運動の推奨（光庭の開放） ○一輪車・竹馬の推奨	<b>【成果】</b> ⇒ ⇒ ⇒	<b>【課題】</b> <input type="checkbox"/>
	B 健康に関する指導の充実	<b>【具体的な取組】</b> ○栄養教諭と担任による「食指導」とフードリサイクルの推進 ○学活の時間での保健指導「歯・心・いのち（性）の健康」 ○外部講師を招いての「ヘルスケア事業」の実施（5・6年生）	<b>【成果】</b> ⇒ ⇒ ⇒	<b>【課題】</b> <input type="checkbox"/>
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	A 体育科に関する指導の充実～課題解決学習		
	A 体育に関する指導の充実	体育科の授業の充実と「遊び」を通して体力の向上に努めていく ○体育科の授業の改善：一人一人の運動量を増やすための工夫+体づくりの運動 ○縄跳びの推奨（月1回の全校縄跳びDAYの実施）、グラウンドへの「跳べるくん」の設置。 ○遊びの推奨（正しいボール投げ運動を習得するための「スカッドボーイ」の設置）（持久力・バランス力を培うための「一輪車」「竹馬」の導入）		
	B 健康に関する指導の充実	「年間カリキュラム」を意識して実践していく ○食指導の充実（栄養教諭を招いて、年2回の食指導を行う。また、それに合わせてランチルーム給食を実施する） ○フードリサイクルの推奨（DVD等を活用し、意識を高め、栽培活動を行う） ○農業体験など実体験を伴う活動を企画する。		
検証の方法	各種調査の活用	○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常の実技テストや観察等） ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査や学校独自の調査結果等を活用 ○学校独自の児童・生徒アンケートや保護者アンケート等の活用 ○学校評議員会・学校関係者評価等の活用		